

- 【学習目標】
- ・数学を学習する意義や有用性を実感し、数学を学習する意欲を高める。
 - ・基礎的、基本的な知識、技能の確実な習得を目指す。
 - ・数学的活動を通して数学的な思考力、表現力を身に付け、数学の良さを知り、数学を活用する能力を養う。

1 年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	学年 計 140h
	算数から数学へ 正負の数 (29 時間)		文字と式 (18 時間)	夏 休 み	方程式 (14 時間)	比例と 反比例 (22 時間)	平面図形 (17 時間)	空間 図形 (8 時間)	冬 休 み	空間図形 (10 時間)	資料の 分析と活用 累積度数 (11 時間)	まとめ・予備 (11 時間)	
2 年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	学年 計 105h
	式の計算 (16 時間)		連立方程式 (13 時間)	1次関数 (8 時間)	夏 休 み	1次関数 (12 時間)	平行と合同 (18 時間)	三角形と四角形 (10 時間)	冬 休 み	三角形と四角形 (12 時間)		確率 (10 時間)	デー タ の 比 較 (6 時間)
3 年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	学年 計 140h
	多項式 (19 時間)		平方根 (16 時間)	2次方程式 (5 時間)	夏 休 み	2次方程式 (10 時間)	関数 $y=ax^2$ (17 時間)	相似な図形 (23 時間)	円 (10 時間)	冬 休 み	三平方の定理 (13 時間)	標本調査 (6時間)	まとめ (21 時間)

○授業について

・ 個々の習熟度に応じて、習熟度別少人数授業を行います。

○生徒の皆さんへ

・ 数学は積み重ねの教科なので、分からないことは、そのままにしないで質問しましょう。

・ 授業で扱った頻出問題は、問題集等で繰り返し解くようにしましょう。

・ 途中式や答えに至るまでの考え方は、ていねいに書くようにしましょう。

・ 提出物はいねいに取り組み、期日を守って必ず提出できるようにしてください。

○生徒の授業における I C T の活用について

・ どのような方法で考えていくのか、I C T で見通しを他者と見合いながら、様々な考えを共有していきましょう。

・ 特にグラフや図形については、I C T で試行を繰り返しながら数学的な見方を広げ、理解を深めていきましょう。

○家庭学習はこのように取り組もう

・ 宿題は忘れずに、粘り強く取り組みましょう。

・ 自宅でもう一度同じ問題を解く、副教材の問題集もその日の内に進めましょう。分からなかった分は、朝や休み時間などを使って、積極的に質問しましょう。

○定期考査前はこのようなに取り組もう

・ ノートやワークシートをよく見直しましょう。

・ 問題集を繰り返し解きましょう。また、丸付けをしっかりと、やり直しを丁寧に行いましょう。その際、必ず正しい途中式や考え方も書いて、理解を深めましょう。

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則などを理解している。事象を数学化したリ、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数学を活用して、事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って、評価・改善しようとしている。
評価資料	【定期考査、小テスト】用語や、様々な性質を理解しているか。数量・図形の性質を、計算を通して処理できるか。	【定期考査、小テスト】文章題、証明問題などを解くことができるか。	【授業への取り組み】意欲的に取り組んでいるか。 【提出物(問題集など)】期限内の提出とその内容

